

計士風

2020・11・13

国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部長の松本俊彦氏と、ヘルスプロモーション推進センター代表の岩室紳也氏。共に、思春期の心の

悩みなどについて本音で迫る語りが人気だ

▼チャイルドラインいわてが今月、2人を

講師にオンライン公開講座を開いた。自傷行為の理解などヒント満載の講演で、依存症にも言及。アルコールや薬物、ネットやゲーム依存も最近注目されているが、特にやっかいな問題が「正解依存症」だそうだがその定義は「自分なりの『正解』を見つけると、その『正解』を疑うことができないだけではなく、その『正解』を他の人にも押し付ける、自分なりの『正解』以外は受け付けない、考えられない病んだ状態」

▼新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染者らに対するネット上などでの誹謗中傷や差別が深刻な問題になった。多くの人が正解依存症に陥っていたからではないか

▼マスクの着用、不要不急の外出自粛、3密回避……。過度に「正解」を追い求めることが、感染リスクの高そうな集団や業種などへの冷たいまなざしにつながってしまう

▼今月以降、全国で感染者の増加傾向が強まり、本県でもクラスター（感染者集団）が発生した。感染予防策を徹底するのはもちろん、正解依存症にも十分気をつけたい。これ以上、新たな差別を生まないために。